

# 盛岡市遺跡の学び館

## 令和2年度 館報



荒屋遺跡 第5次発掘調査

盛岡市遺跡の学び館

## はじめに

盛岡市は、南部氏盛岡藩の城下町として、また、近代以降は岩手県の県都として発展してきました。岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川をはじめとするいくつもの清流が悠々と流れる、豊かな自然と雄大な景観に恵まれた「杜と水の都」です。当館は、その中で緑あふれる市中央公園の一角に位置し、埋蔵文化財発掘調査機関としての機能と、登録博物館として埋蔵文化財の教育普及活動を行う役割を併せ持った、盛岡市教育委員会所管の施設です。

令和2年度の発掘調査事業におきましては、国指定史跡盛岡城跡の整備に伴う発掘調査を継続して行い、三ノ丸地区においては塀の建て替えが判明し、本丸地区では「長局」「湯殿」に相当する箇所、建物の礎石・根石等が確認されたほか、公共工事や民間開発事業等に伴う発掘調査を行いました。調査成果は、報告書として随時刊行していく予定ですが、本書では、速報としてその概要をまとめました。

学芸事業におきましては、企画展「不來方之城新築之有可候—南部氏の盛岡築城—」を開催し、盛岡城の築城からその変遷について、これまでの発掘調査成果や文献・歴史資料等を検証し紹介するとともに、関連事業として行った特別講演会「城石垣の技術と盛岡城跡の魅力」も好評をいただきました。

一方で、テーマ展として予定していた「じょうもん〇△□（まるさんかくしかく）—子どもとみる縄文時代のかたち—」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく中止といたしました。

このほか、コロナ禍の影響はございましたが、学芸講座や史跡めぐり、体験学習などを実施いたしました。

今後におきましても、市民の皆様の期待に応えるべく、創意工夫による内容の充実を図ってまいりますので、引き続き関係各位の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月

盛岡市遺跡の学び館  
館長 割船 活彦

# 例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の令和2年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 III-3の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、令和2年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたものである。その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。
- 4 本書に使用した地図は、国土地理院発行2万5千分の1地形図「矢幅」「盛岡」「小岩井農場」「鷹高」「外山」「洪民」及び盛岡市都市計画整備図を使用した。
- 5 発掘調査に伴う記録類や出土遺物等は、当館で保管している。

# 目 次

## はじめに

例言・目次	1
-------	---

## I 施設概要

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業	2
2 事業経過	2
3 建設事業費等	2
4 施設概要	2

II 職員体制	3
---------	---

## III 事業概要

1 管理運営	4
2 学芸事業	5
3 埋蔵文化財発掘調査	13

## 報告書抄録

# I 施設概要

## 1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

## 2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土工工事
平成15年度	建築工事・土工工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
令和3年3月末	開館以来の施設総利用者数 194,424人

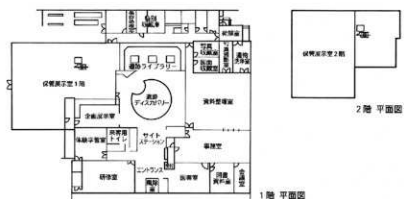
## 3 建設事業費等

・建設事業費 677,755千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衛設計舎
建築設計委託	24,675	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土工工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	9,219	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

## 4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨造平層(一部重層)			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室			
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡) 写真収蔵室(27.2㎡)、図画収蔵室(27.2㎡)			
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)			
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)			



館内平面図及び外観・展示室写真

【収蔵資料】(令和2年度末現在)

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	R2年度発掘調査分	・史跡盛岡城跡・西鹿渡遺跡・細谷地遺跡・下永林遺跡 ほか	小コンテナ 68箱
	調査資料 完形品等 (展示資料含む)	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・銚石等	約 5,400点
	破片等コンテナ収納資料	・プラスチックコンテナ収納(土器・石器破片, 自然遺物含む) ※コンテナ 503×700×397mm, 小コンテナ 387×586×142mm	大 368箱 小 16,000箱
	寄贈寄託 個人コレクション	・古澤典夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	8,521点 2点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図面	・図面(原図・第2原図・遺物実測図等)	約 4,400枚
	写真	・写真(モノクロ・カラーネガ :35mm, 6×7, 4×5) ・カラースライド(35mm, 6×7) ・デジタル画像(700MB・CD・DVD)	約 130,000コマ 約 44,000コマ 約 440枚

## Ⅱ 職員体制

館長(兼) 福田 淳  
館長補佐(兼) 三浦 志麻

〔管理・学芸班〕

(主任 1 会計年度任用職員 4)

主任(兼) 杉浦 雄治  
文化財調査員(会計) 伊藤 聡子  
学芸調査員(会計) 千葉 貴子  
学芸調査員(会計) 樋下 理沙  
事務補助(会計) 立花 真奈

〔調査班〕

(文化財副主幹 2 主査 3 主任 1 主事 1 会計年度任用職員 3)

文化財副主幹(兼) 室野 秀文  
文化財副主幹(兼) 菊地 幸裕  
文化財主査(兼) 津嶋 知弘  
文化財主査(兼) 今野 公顕  
文化財主査(兼) 花井 正香  
文化財主任(兼) 似内 啓邦  
文化財主事(兼) 鈴木 俊輝  
文化財調査員(会計) 今松 佑太  
文化財調査員(会計) 佐々木 あゆみ  
文化財調査員(会計) 鈴木 郁美

### Ⅲ 事業概要

#### 1 管理運営

##### 【盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会】

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営についての指導もいただいている。

○【日 時】令和2年7月22日(水) 13:30～14:20

【会 場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正 委員長、落合昭彦・菅野 亨・菅野文夫  
・瀬川君雄 委員

【議 事】報告・令和元年度遺跡の学び館事業報告について  
審議・令和2年度遺跡の学び館事業計画(案)について



遺跡ネットワーク整備委員会

##### 【年間事業費】(令和2年度決算額)

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	14,885,185円	・臨時職員賃金、施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,904,334円 (うち国補助1,371,000円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、収蔵資料データシステム等
盛岡遺跡群発掘調査事業	2,832,671円 (うち国補助1,353,000円、 県補助232,000円)	・個人住宅建築に係る事前の発掘調査及び資料整理
埋蔵文化財調査事業	1,593,215円	・公共事業に伴う発掘調査、各種開発に係る試掘確認調査
計	23,215,405円	

##### 【入館者統計】開館以降の入館者等利用状況(平成16年6月～令和3年3月)

(単位:人)

	有料入館者						減免利用者			展示室 利用者数	展示室以 外の利用 者数	総計	
	個人			団体			計	一般	小・中				
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,284	568	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,959	13,063
H25	1,942	1,640	3,582	630	340	970	4,552	1,641	521	2,162	6,714	3,877	10,591
H26	2,109	1,513	3,622	328	273	601	4,223	1,691	972	2,663	6,886	4,537	11,423
H27	2,305	1,294	3,599	409	224	633	4,232	1,645	545	2,190	6,422	3,641	10,063
H28	2,204	1,129	3,333	527	198	725	4,058	1,755	394	2,149	6,207	4,184	10,391
H29	2,187	863	3,050	633	322	955	4,005	1,842	682	2,524	6,529	5,103	11,632
H30	2,151	831	2,982	786	214	1,000	3,982	1,463	670	2,133	6,115	4,869	10,984
R1	2,822	1,069	3,891	740	351	1,091	4,982	1,949	953	2,902	7,884	4,258	12,142
R2	1,240	619	1,859	352	987	1,339	3,198	1,080	680	1,760	4,958	1,336	6,294
計	36,464	23,708	60,172	8,663	10,041	18,704	78,876	30,976	12,085	43,061	121,937	72,487	194,424

## 2 学芸事業

当館主催の学芸事業として、企画展示室において企画展、令和2年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全3回開催し、また、夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現場での説明会の実施、普及資料の発行、出前講座等の事業を実施した。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、テーマ展を中止し、体験学習会の一部の事業を中止、または内容及び定員を変更して実施した。博物館実習等の研修・実習の受け入れも中止し、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会等の各種会議は、書面開催に変更して行われた。

### (1) 展示公開・普及活動

#### 【展示会】

タイトル等	テーマ展「じょうもん〇△□(まるさんかくしかく) —子どもとみる縄文時代のかたち—」	会場	当館企画展示室
開催期間	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	来場者数	—
展示構成	—	展示資料数	—
概要	—		
作成資料	—		
タイトル等	第18回企画展「不来方之城新築之有可候 —南部氏の盛岡築城—」	会場	当館企画展示室
開催期間	令和2年10月3日(土)～令和3年1月24日(日)	来場者数	2,008名
展示構成	[不来方城の時代] 不来方城と同じ時代の台太郎遺跡、高水寺城、九戸城の出土遺物〔築城〕盛岡城築城の経緯と盛岡城の変遷〔盛岡城跡の発掘調査〕これまでの発掘調査成果から解明された石垣の変遷と出土遺物	展示資料数	248点
概要	盛岡藩主南部氏の居城であった盛岡城の築城からその変遷について、これまでの発掘調査成果や文献・歴史資料等を検証し紹介した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示資料一覧		
タイトル等	第38回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘する—令和2年度調査速報—」	会場	当館企画展示室
開催期間	令和3年2月6日(土)～令和3年5月23日(日)	来場者数	1,055名
展示遺跡	史跡盛岡城跡、荒屋遺跡、下永林遺跡、細谷地遺跡、西鹿波遺跡、百日本遺跡、山王山遺跡ほか	展示資料数	219点
概要	令和2年度に市内で発掘された遺跡の概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



企画展 不来方之城新築之有可候



第38回埋蔵文化財調査資料展

### 【講演会】(企画展関連事業)

開催日	タイトル・講師	聴講者
令和2年11月8日(日) 13:30～15:30	特別講演会「城石垣の技術と盛岡城跡の魅力」 東北芸術工科大学 教授 北野 博司 氏	38名

### 【学芸講座】

開催日	タイトル・講師	聴講者
令和2年10月25日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅱ「室町・戦国時代の岩手・斯波－盛岡築城前夜－」 当館 室野 秀文 文化財副主任	40名
令和2年12月6日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅲ「盛岡城跡の発掘調査」 当館 似内 啓邦 文化財主任	28名

※7月26日に予定していた学芸講座Ⅰは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

### 【ミニ展示】

サイトステーション内にミニ展示コーナー「みっけギャラリー」を設け、3～4ヶ月ごとにテーマを決めて展示した。令和2年度は、縄文時代の土偶や石器をテーマとした展示を行った。

### 【共催展示会】

縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す岩手県・一戸町等が主催する「縄文ムラの原風景」展に共催した。盛岡市民文化ホール展示ホールを会場に、盛岡市内の縄文遺跡の紹介と、出土遺物の展示を行った。



特別講演会



共催展示会「縄文ムラの原風景」展示



## (2) 参加型体験活動

### 【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
令和2年10月11日(日) 10:00～11:30	「もりおか史跡・遺跡めぐり－国史跡 盛岡城跡－」 対応: 当館職員	18名
令和2年11月29日(日) 9:30～12:00	「つるを編んでみよう」 対応: 当館職員・サポーターズクラブ	7名
令和3年2月20日(土) ・2月21日(日) 9:30～12:00	「カゴ作り教室」 対応: 当館職員・サポーターズクラブ	10名

※6月7日に予定していた「縄文土器をつくろう!」、6月21日・7月12日に予定していた「やきもの教室」、9月20日に予定していた「考古学者になってみよう! 遺跡発掘体験」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。





もりおか史跡・遺跡めぐり



つるを編んでみよう



カゴ作り教室

### 【古代体験ひろば】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
夏休み！ 古代体験ひろば	令和2年8月1日(土) ～8月10日(日) 9日間	午前の部 10:00～11:00 午後の部 13:30～14:30 メニュー：古代風ストラップ・ 古代のお守りネックレス・板 状土偶マグネット	古代風ストラップ39名、お 守りネックレス5名、板状 土偶マグネット12名 (計56名)
冬休み！ 古代体験ひろば	令和3年1月5日(火) ～1月11日(月) 7日間		古代風ストラップ9名、お 守りネックレス10名、板状 土偶マグネット6名 (計25名)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メニューの一部を変更したほか、参加人数を各回先着5組に限定した。

また、4月29日～5月6日に予定していた「ゴールデンウィーク 古代体験ひろば」は、中止とした。



夏休み！ 古代体験ひろば (お守りネックレス)



冬休み！ 古代体験ひろば (古代風ストラップ)

### 【縄文ふれあい DAY】

盛岡市内の小・中学校に通学している児童・生徒5名以上の場合に入館料が減額になる毎月第2土曜日を「縄文ふれあい DAY」とし、古代風ストラップ・拓本とり・古代のお守りネックレス作りなどの体験学習を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部開催を中止した。

### (3) ボランティア活動や地域連携活動

#### 【盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク」(略称もりとびあねっと)は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設(岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・

盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間及び地元本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図った。令和2年度は、合同情報紙「もりとびあねっとだより」を作成・配布した。

例年実施していた「スタンプラリー」「志波城まつり」等のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

#### 【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して16年目を迎えた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規会員の募集は取りやめ、現有の会員数18名での活動となった。当館行事の夏・冬の「古代体験ひろば」(個人の体験学習)や「カゴ作り教室」等の体験教室、修学旅行等の学校行事利用の体験学習等に、精力的に参加され、支援していただいた。

なお、自主活動として例年実施している研修旅行は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (4) 研修・実習活動

##### 【研修・実習受入】

開催日	内 容	依頼団体	参加者
令和2年9月1日(火) ～9月2日(水)	職場体験	紫波町立紫波第一中学校 第2学年	2名

※例年実施している博物館実習及び大学生等のインターンシップ研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。



職場体験 (遺物洗浄)



職場体験 (拓本つくり)

#### (5) 出前講座・講師派遣活動

##### 【出前講座】

開催日	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
令和2年7月15日(水)	渡民・生出高砂大学 「玉山地域の古代遺跡と人々のくらし」	菊地 幸裕 文化財副主幹	渡民公民館	60名
令和2年9月6日(日)	盛岡城跡公園史跡講座	似内 啓邦 文化財主任	盛岡東ロータリーク ラブ(盛岡城跡公園)	40名

開催日	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
令和2年9月25日(金)	学びの循環推進事業 「もりおかの遺跡(原始・古代)」	津嶋 知弘 文化財主査	盛岡ゆうゆう大学み たけ校(みたけ老人 福祉センター)	6名
令和2年9月29日(火) 10月21日(水)	大館町遺跡見学学習	菊地 幸裕 文化財副主幹 佐々木 あゆみ 文化財調査員 樋下 理沙 学芸調査員	大新小学校	92名

#### (6) 職員研修活動

##### 【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催(会場)
令和2年12月4日(金)	令和2年度埋蔵文化財発掘 調査技術講習会	津嶋 知弘 文化財主査	岩手県立埋蔵文化財センター (岩手県立博物館)

##### 【関連会議等出席】

当館が加盟し、例年開催している「全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会」「全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 北海道・東北ブロック会議」「岩手県博物館等連絡協議会総会・研修会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は中止となり、書面にて開催された。

#### (7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

##### 【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名(所在地)	見学者・参加者
令和2年8月1日(土) 13:30～15:00	荒屋遺跡第5次発掘調査現地説明会	100名
令和2年10月24日(土) 13:30～15:00	史跡盛岡城跡第41次発掘調査現地説明会	114名
令和3年3月7日(日) 13:30～15:10	令和2年度調査成果報告会(荒屋遺跡、下永林遺跡、盛岡城跡)	33名



荒屋遺跡第5次調査 現地説明会



盛岡城跡第41次調査 現地説明会



令和2年度調査成果報告会

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
『西鹿渡遺跡—第36次調査 宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—』	令和2年7月31日	150部	公的機関に配布
『盛岡市内遺跡群—平成29・30年度発掘調査報告書 赤袋遺跡第5次、大新町遺跡第84次、繫V遺跡第38次、里館遺跡第65次—』	令和2年12月28日	300部	
『盛南地区遺跡群発掘調査報告書 XIII—道明地区土地区画整理事業関連遺跡 平成30・令和元年度発掘調査—細谷地遺跡』	令和3年1月31日	300部	

【学芸関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売価格等
【展示図録】 遺跡の学び館第18回企画展 「不來方之城新築之有可候—南部氏の盛岡築城—」	令和2年12月25日	400部	1,000円
『盛岡市遺跡の学び館 令和元年度館報』	令和3年3月25日	350部	公的機関に配布



西鹿渡遺跡 発掘調査報告書



第18回企画展 展示図録



盛岡市内遺跡群 発掘調査報告書

## (9) 図書整備活動

## 【寄贈図書及び購入図書】

形態	分野	内 容	寄贈・購入冊数		計
			令和元年度末	令和2年度増加分	
発掘調査報告書			20,156	596	20,752
一 般 図 書	考 古 学	概説書など	307	0	307
	歴 史 学	日本史・郷土史など	191	0	191
	民 俗 学	民具・民俗芸能など	22	0	22
	美 術 工 芸	絵画・彫刻・建造物など	37	0	37
	自 然 科 学	動植物など	6	0	6
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	54	0	54
	博 物 館 学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	そ の 他	辞典・事典など	57	2	59
資 料 集	図録・解説書・パンフ・レジュメなど	2,522	68	2,590	
全 集	3冊以上	478	1	479	
論 集	論文集など	66	0	66	
通 史	市町村史	286	4	290	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	5,253	184	5,437	
計		29,438	855	30,293	

全国各地の公立及び公益法人の埋蔵文化財センター及び博物館施設等と遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍及び展示図録・歴史関連書籍や論文、一般刊行物、各種パンフレットなどを主体に図書の交換を行い、保管収集に努めている。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に收藏のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

### 3 埋蔵文化財発掘調査

令和2年度は、本発掘調査9件、試掘調査30件、合計39件の調査を行った。前年度より、総件数は増加したが、本調査件数は僅かに減少している。原因別の内訳は、史跡保存整備事業に伴う事前調査が2件、大規模区画整理事業に係る本調査2件・試掘調査1件、盛岡バスセンター整備に係る試掘調査1件、民間開発関連では、個人専用住宅建築等に係る本調査2件・試掘調査15件、共同住宅建築等に係る本調査1件・試掘調査1件、宅地造成に係る本調査2件・試掘調査7件、福祉施設等建設に係る試掘調査4件、太陽光発電施設に係る試掘調査1件である。総面積は12,132㎡で、前年度比103.0%となっている。

調査地の地域的分布は、旧市街地区が4地点、太田・向中野地区が7地点、飯岡地区が16地点、厨川地区が6地点、上田地区が1地点、中津川地区が1地点、築川地区が3地点、繋地区が1地点となっている。

本報告では、遺構及び遺物が検出された調査を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。

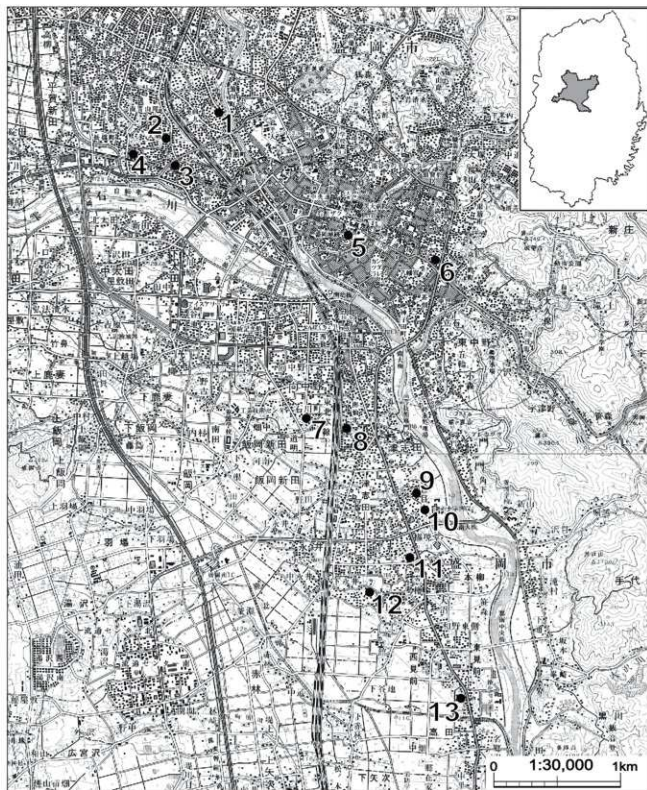
【令和2年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覧】

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	1	盛岡城跡	37 補	内丸57-1地内 (三ノ丸地区)	三ノ丸石垣修 復工事の事前 調査	5月18日～ 7月31日	71	近世の扉本柱跡・控柱跡、焼土 遺構、整地層 近世の瓦、陶磁器類、鉄製品
	2	盛岡城跡	41	内丸57-1地内 (本丸地区)	史跡保存整備 の事前調査	7月29日～ 10月30日	160	近世の建物掘方63口、溝跡7 条、土坑3基 近世の瓦、陶磁器類、鉄製品、 古銭、銅製品 コンテナ約7箱
	3	下永林遺跡	9	津志田14地割 1-1外	都南中央第三 地区土地区画 整理事業	4月21日～ 12月15日	2,957	縄文時代の土坑4基、奈良・ 平安時代の円形周溝18基、土 坑墓1基、土坑1基、溝跡1条、 古代以降の掘立柱建物跡1棟、 柱列1基、土坑2基、近世以 降の旧塚跡 奈良・平安時代の土師器、須恵 器、鉄製品、赤色顔料、近世の 古銭、陶磁器、近代以降の土製 品(トチン) コンテナ約7箱
	4	荒屋遺跡	5	永井25地割 46-1、47-2	宅地造成	4月23日～ 8月26日	2,690	奈良時代の竪穴建物跡11棟、 平安時代の竪穴建物跡1棟、 奈良時代以降の土坑10基 奈良時代の土師器、鉄製品、土 製紡錘車 コンテナ約20箱
	5	細谷地遺跡	41	向中野字細谷地 24-3外	道明地区土地区 画整理事業	7月7日～ 7月21日	776	近現代の廃棄土坑1基 近現代の陶磁器、ガラス瓶 コンテナ約20箱
	6	西鹿渡遺跡	39	三本柳2地割 39-64・68・70	個人住宅・車 庫建築	8月18日～ 9月4日	84	奈良時代の竪穴建物跡1棟、 古代以降の土坑1基 奈良時代の土師器、土製品、水 晶製切子玉 コンテナ約2箱
	7	稲荷町遺跡	37	大館町126-1、 127-1、597	宅地造成	9月7日～ 11月6日	1,441	縄文時代の陥し穴状土坑2基、 古代以降の土坑10基、中世の 塚跡1条 近世陶磁器 コンテナ約1/2箱

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	8	百目木遺跡	38	三本柳 5 地割 41-2	個人住宅建築	10月13日～ 10月27日	59	平安時代の竪穴建物跡2棟、 古代の土坑2基、溝跡2条、 近現代の廃棄土坑3基 平安時代の土師器、あかやき土 器、近現代の陶磁器、ガラス瓶 コンテナ約1箱
	9	山王山遺跡	15	山王町 64-33・34	共同住宅建築 ・L型擁壁設 置	11月9日～ 12月22日	140	平安時代の竪穴建物跡2棟、 古代の土坑1基、時期不詳の 土坑1基、縄文～平安時代の 遺物包含層 縄文土器、石器、弥生土器、平 安時代の土師器、須恵器・あか やき土器 コンテナ約3箱
試 掘 調 査	10	宿田遺跡	14	前九年二丁目 104-13・59	個人住宅建築	4月9日	27	遺構・遺物なし
	11	小山遺跡	43	東山一丁目 368	太陽光発電所 設置	4月15日	78	縄文時代中期の竪穴建物跡1 棟 縄文時代中期の土器2個体、 土器片22点（開発計画中止）
	12	下永林遺跡	9	津志田 14 地割 1-1 外	都南中央第三 地区土地区画 整理事業	4月21日～ 12月15日	530	遺構なし 近代以降の陶磁器、ガラス瓶 コンテナ約0.5箱
	13	上畑遺跡	14	西見前 11 地割 216	個人住宅建築	4月27日	23	遺構・遺物なし
	14	山王山遺跡	14	山王町 62-1・11・ 14～16	宅地造成	4月30日・ 5月1日・ 5月7日	282	縄文時代の土坑1基、遺物包 含層 縄文土器、石器
	15	西鹿渡遺跡	38	三本柳 2 地割 23-1・2	宅地造成	5月12日～ 5月13日	476	遺構なし 土師器片
	16	向中野幅遺跡	6	向中野字幅 27-1、 27.3 外	宅地造成	6月2日～ 6月3日	351	遺構・遺物なし
	17	向中野幅遺跡	7	向中野字幅 26-1、 156-1 外	資材置場造成	6月4日	96	遺構・遺物なし
	18	盛岡城遠曲輪跡	20	本町通二丁目 463-3	物販店舗建築	6月11日～ 6月12日	180	遺構・遺物なし
	19	台太郎遺跡	93	向中野一丁目 9-17・18	宅地造成	6月24日	41	遺構・遺物なし
	20	百目木遺跡	37	三本柳 5 地割 15-1	事務所建築	7月8日	12	遺構・遺物なし
	21	石仏遺跡	11	上鹿妻田貝 5-2	個人住宅建築	7月14日	24	遺構・遺物なし
	22	小屋塚遺跡	44	大新町 10-8	個人住宅建築	8月4日	27	縄文時代の土坑12基、ビット 縄文土器、石器（R3本調査）
	23	矢盛遺跡	32	北飯岡二丁目 11- 14 の一部	個人住宅建築	8月12日	35	遺構・遺物なし
24	矢盛遺跡	33	北飯岡二丁目 11- 14 の一部	個人住宅建築	8月12日	42	遺構・遺物なし	
25	西鹿渡遺跡	40	三本柳 2 地割 35.5・8	個人住宅建築	8月24日	35	遺構なし 土師器片	
26	稲荷町遺跡	38	大館町 326-1、 328-4	個人住宅建築	8月27日	22	遺構・遺物なし	

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
試掘調査	27	石名坂遺跡	2	東見前1地割 25-9, 26-9	個人住宅建築	9月11日	17	遺構・遺物なし
	28	百目木遺跡	39	三本柳5地割 15-2	個人住宅・倉庫建築	10月27日	159	古代の竪穴建物跡3棟, 古代以降の竪穴建物跡1棟 奈良・平安時代の土師器, あかやき土器 (現状保存)
	29	里館遺跡	67	天昌寺町 423-6	個人住宅建築	11月10日	19	中世～戦国時代の堀跡1条 (R3本調査)
	30	百目木遺跡	40	三本柳5地割 14-1	個人住宅建築	11月12日～ 11月13日	466	平安時代の竪穴建物跡4棟, 土坑2基 平安時代の土師器片 (R3本調査)
	31	盛岡城遠曲輪跡	21	中ノ橋通一丁目 13-6 外	盛岡バスセンター整備	11月16日	101	遺構・遺物なし
	32	落合遺跡	18	下米内一丁目 158-5, 163	宅地造成	11月25日	65	遺構なし 縄文時代後期の土器片, 平安時代の土師器片, 須恵器片, 中世に中国青磁片
	33	南仙北遺跡	41	南仙北二丁目 234-1の一部	長屋住宅建築	12月1日	116	古代以降の溝跡1条 (工法変更による現状保存)
	34	大宮北遺跡	18	本宮字小幡 1-5	個人住宅建築	12月3日	12	遺構なし 平安時代のあかやき土器片
	35	荒屋遺跡	6	永井 25 地割 46-14	個人住宅建築	12月4日	12	遺構・遺物なし
	36	繫Ⅱ遺跡	39	繫字湯ノ館 81-1, 82-1, 84-3 外	福祉施設建設	12月8日	206	遺構なし 縄文時代中期の土器片, 石器
	37	安倍館遺跡	95	安倍館町 212-1 の一部	個人住宅建築	3月1日	28	中世の堀跡1条 (盛土による現状保存)
	38	上畑遺跡	15	西見前 11 地割 163-1	個人住宅建築	3月12日	30	平安時代の竪穴建物跡2棟, 土坑2基 平安時代の土師器, 須恵器, あかやき土器 (盛土による現状保存)
	39	右京長根遺跡	3	緑ヶ丘一丁目 262-1 外	宅地造成	3月25日	242	縄文時代の陥し穴状土坑1基
	総面積							12,132





1	安倍館遺跡 (第95次)	2	小屋塚遺跡 (第44次)	3	里館遺跡 (第67次)
4	稲荷町遺跡 (第37次)	5	盛岡城跡 (第37補・41次)	6	山王山遺跡 (第15次)
7	細谷地遺跡 (第41次)	8	南山北遺跡 (第41次)	9	西鹿渡遺跡 (第39次)
10	百目木遺跡 (第38・39・40次)	11	下永林遺跡 (第9次)	12	荒屋遺跡 (第5次)
13	上畑遺跡 (第15次)				

令和2年度調査遺跡 位置図

## ○史跡整備に伴う事前調査

### (1) 国指定史跡 盛岡城跡 第37次補足・41次調査

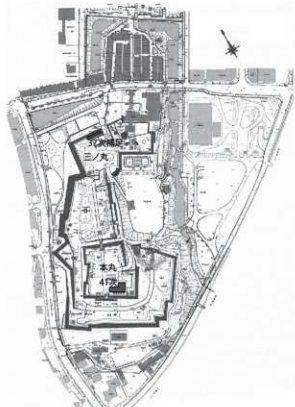
- |        |  |        |                  |
|--------|--|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市内丸57-1地内  | 2 調査原因 | 石垣修復・史跡整備に伴う事前調査 |
| 3 調査方法 | トレンチによる内容確認調査  | 4 調査期間 | 令和2年5月18日～10月30日 |
| 5 調査面積 | 第37次補足71㎡, 第41次160㎡  | 6 調査員  | 似内 啓邦・今松 佑太      |
| 7 検出遺構 | 第37次補足 江戸時代の塀本柱跡・控柱跡, 焼土遺構, 整地層<br>第41次 江戸時代の建物礎石・根石・掘方63口, 溝跡7条, 土坑3基   |        |                  |
| 8 出土遺物 | 第37次補足 江戸時代の軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦, 陶磁器, 鉄製品, 古銭<br>コンテナ約13箱<br>第41次 江戸時代の軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦, 陶磁器, 鉄製品(釘, 鉄瓶盖等),<br>銅製品(煙管, 緑金具等), 石製品(数珠玉, 碁石等) コンテナ約7箱 |        |                  |

- 9 調査概要 史跡盛岡城跡は、市街地中心部の内丸に所在する盛岡藩南部氏の居城跡である。本丸、二ノ丸、三ノ丸などで構成される連郭式縄張の内曲輪（御城内）を要とし、その外側に外曲輪、遠曲輪を配置した梯郭式の城郭である。主要曲輪は総石垣造りとなっている。築城から400年以上経過し、石垣は城内各所で孕みや陥没が認められ、一部では崩落の危険性もあげられる。

当市では、平成24年に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、石垣の解体修理をはじめとする保存整備計画を計画し、これに係る事前調査を平成25年度から実施している。第37次補足調査は三ノ丸北西部石垣上面を、第41次調査は本丸南東部を調査対象とした。

三ノ丸地区においては、塀の控柱跡を8口検出した。控柱跡の新旧関係から、宝永2年（1705）の石垣修復後は、少なくとも3回は塀が建て替えられていることが判明した。

本丸地区では、本丸御殿南東部の「長局」「湯殿」に相当する箇所を調査し、建物の礎石・根石等を確認した。これらの遺構には、数度の増改築の痕跡が認められ、時期変遷が窺えるものである。



第37次補足・41次調査区 位置図



第37次補足調査 控柱跡

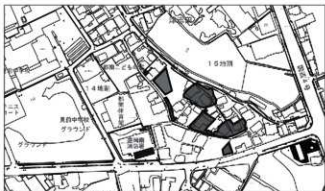


第41次調査 全景

## ○公共事業関連

### (1) 下永林遺跡 第9次調査

- |        |                |        |                  |
|--------|----------------|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市津志田14地割1-1外 | 2 調査原因 | 都南中央第三地区土地区画整理事業 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査   | 4 調査期間 | 令和2年4月21日～12月15日 |
| 5 調査面積 | 3,487㎡         | 6 調査員  | 花井 正香・鈴木 郁美      |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑4基、奈良・平安時代の円形周溝18基（1基は主体部あり）、土坑墓1基、土坑1基、溝跡1条、古代以降の掘立柱建物跡1棟、柱列跡1列、土坑2基、近世以降の旧塚跡、時期不詳のピット159口
- 8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器、須恵器、鉄製品（直刀、刀子、釣針）、赤色顔料、近世の古銭、陶磁器、近代以降の陶磁器、土製品（窯道具トチン）、ガラス瓶 コンテナ約7箱
- 9 調査概要 本遺跡は、大道西古墳とも称され、昭和初期に蔵手刀が出土したことで知られている。従前の調査では奈良・平安時代の円形周溝が20基以上確認されている。今次調査では、18基の円形周溝が確認された。このうち1基は、張出部を伴うもので、径約13mの大型墳墓である。また、土坑墓からは、直刀、刀子、釣針等の副葬品が出土しており、本遺跡初の知見である。



第9次調査区 位置図 (1:5,000)



第9次調査 円形周溝

### (2) 細谷地遺跡 第41次調査

- |        |                 |        |                |
|--------|-----------------|--------|----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市向中野字細谷地24-3外 | 2 調査原因 | 道明地区土地区画整理事業   |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査    | 4 調査期間 | 令和2年7月7日～7月21日 |
| 5 調査面積 | 776㎡            | 6 調査員  | 鈴木 俊輝          |
- 7 検出遺構 近現代の廃棄土坑1基
- 8 出土遺物 近現代の陶磁器、ガラス瓶 コンテナ約20箱
- 9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸と雫石川南岸に広がる低位沖積段丘の南端縁辺部に立地し、これまでに奈良・平安時代の竪穴建物跡が230棟以上確認された大規模集落跡である。今次調査では、従前確認された陥し穴状土坑や古代の竪穴建物跡は検出されず、近現代の廃棄土坑が確認された。



第41次調査区 位置図 (1:5,000)



第41次調査 廃棄土坑

## ○個人住宅建築関連

### (1) 西鹿渡遺跡 第39次調査

- |        |                      |        |                |
|--------|----------------------|--------|----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市三本柳2地割39-64・68・70 | 2 調査原因 | 個人住宅及び車庫建築     |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査         | 4 調査期間 | 令和2年8月18日～9月4日 |
| 5 調査面積 | 84㎡                  | 6 調査員  | 鈴木俊輝           |
- 7 検出遺構 奈良時代の竪穴建物跡1棟、土坑1基、古代以降の土坑1基  
8 出土遺物 奈良時代の土師器、土製紡錘車、水晶製切子玉 コンテナ約2箱  
9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸に広がる低位沖積段丘上に立地する。従前の調査で、奈良・平安時代の竪穴建物跡が40棟以上確認されている古代の集落跡である。今次調査では、奈良時代の竪穴建物跡が検出され、ここから土師器 坏・甕、土製紡錘車、水晶製切子玉等の遺物が出土した。



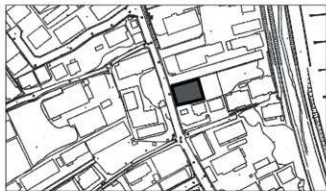
第39次調査区 位置図(1:2,500)



第39次調査 竪穴建物跡

### (2) 百目木遺跡 第38次調査

- |        |               |        |                   |
|--------|---------------|--------|-------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市三本柳5地割41-2 | 2 調査原因 | 個人住宅建築            |
| 3 調査方法 | 住宅建築範囲全面の本調査  | 4 調査期間 | 令和2年10月13日～10月27日 |
| 5 調査面積 | 59㎡           | 6 調査員  | 津嶋知弘・佐々木あゆみ       |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡2棟、古代の土坑2基、溝跡2条、近現代の廃棄土坑3基  
8 出土遺物 平安時代の土師器、あかやき土器、近現代の陶磁器、ガラス瓶 コンテナ約1箱  
9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸に広がる低位沖積段丘上に立地し、旧河道を挟み、西鹿渡遺跡に隣接している。従前の調査では、奈良時代を主体とする竪穴建物跡が100棟以上確認されている大規模集落跡である。今次調査では、平安時代の竪穴建物跡2棟と、古代の土坑、溝跡等の遺構が検出された。竪穴建物跡は東辺にカマドを有し、1棟にはカマド心材の石組が遺存していた。遺物は、遺構内から当該期の土師器、あかやき土器等が出土した。



第38次調査区 位置図(1:2,500)



第38次調査 全景

(3) <sup>こやつか</sup>小屋塚遺跡 第44次調査

- |        |               |        |             |
|--------|---------------|--------|-------------|
| 1 調査地  | 盛岡市大新町10-8    | 2 調査原因 | 個人住宅建築      |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和2年8月4日    |
| 5 調査面積 | 27㎡           | 6 調査員  | 鈴木 俊輝・今松 佑太 |
- 7 検出遺構 縄文時代の土坑12基、ピット1口  
8 出土遺物 縄文土器、石器  
9 調査概要 本遺跡は、雫石川北岸の火山灰砂台地の縁辺部に立地する。この台地上には、大館町遺跡、大新町遺跡、大館堤遺跡、前九年遺跡等の縄文時代の遺跡が多く所在している。今次調査では、トレンチによる遺構確認を行い、その結果、縄文時代に比定される土坑と縄文時代中期の土器片、石器片が検出された。(令和3年度本調査実施)



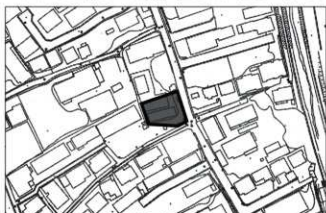
第44次調査区 位置図 (1:2,500)



第44次調査 土坑検出状況

(4) <sup>ひもき</sup>百目木遺跡 第39次調査

- |        |               |        |            |
|--------|---------------|--------|------------|
| 1 調査地  | 盛岡市三本柳5地割15-2 | 2 調査原因 | 個人住宅及び倉庫建築 |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和2年10月27日 |
| 5 調査面積 | 159㎡          | 6 調査員  | 今野 公顕      |
- 7 検出遺構 古代の竪穴建物跡3棟、古代以降の竪穴建物跡1棟  
8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器、あかやき土器  
9 調査概要 今次調査は、個人専用住宅及び倉庫建築に伴う事前調査で、トレンチによる遺構確認を行い、現地表面から約0.5m下で奈良・平安時代の竪穴建物跡が検出された。遺物は、当該期の土師器、あかやき土器が20数点出土した。(盛土工法による現状保存措置)



第39次調査区 位置図 (1:2,500)



第39次調査 竪穴建物跡検出状況

(5) <sup>さらて</sup>里館遺跡 第67次調査

- |        |               |        |             |
|--------|---------------|--------|-------------|
| 1 調査地  | 盛岡市天昌寺町 423-6 | 2 調査原因 | 個人住宅建築      |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和2年11月10日  |
| 5 調査面積 | 19㎡           | 6 調査員  | 津嶋 知弘・今野 公顕 |
- 7 検出遺構 中世から戦国期の堀跡1条  
8 出土遺物 なし  
9 調査概要 本遺跡は、雫石川北岸の段丘上に立地している。中世工藤氏の城館跡とされ、これまでの調査で、中世から戦国期の堀跡、掘立柱建物跡、竪穴建物跡等の遺構が多数確認されている。今次調査は遺跡南辺部に位置し、南北に走行する堀跡を確認した。(令和3年度本調査実施)



第67次調査区 位置図 (1:2,500)



第67次調査 堀跡検出状況

(6) <sup>うねだて</sup>上畑遺跡 第15次調査

- |        |                    |        |             |
|--------|--------------------|--------|-------------|
| 1 調査地  | 盛岡市西見前 11 地割 163-1 | 2 調査原因 | 個人住宅建築      |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査      | 4 調査期間 | 令和3年3月12日   |
| 5 調査面積 | 30㎡                | 6 調査員  | 津嶋 知弘・今野 公顕 |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡2棟、土坑2基  
8 出土遺物 平安時代の土師器、須恵器、あかやき土器  
9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸に広がる低位沖積段丘上に立地している。従前の調査で、奈良・平安時代の竪穴建物跡が50棟以上確認されている古代の集落跡である。今次調査では、平安時代と推測される竪穴建物跡及び土坑が検出され、該期の土師器、須恵器、あかやき土器が出土した。(盛土工法による現状保存措置)



第15次調査区 位置図 (1:2,500)



第15次調査 竪穴建物跡検出状況

(7) <sup>あべたて</sup>安倍館遺跡 第95次調査

- |        |                   |        |             |
|--------|-------------------|--------|-------------|
| 1 調査地  | 盛岡市安倍館町 212-1 の一部 | 2 調査原因 | 個人住宅建築      |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査     | 4 調査期間 | 令和3年3月1日    |
| 5 調査面積 | 28㎡               | 6 調査員  | 室野 秀文・今松 佑太 |
- 7 検出遺構 中世の堀跡1条  
8 出土遺物 なし  
9 調査概要 本遺跡は、滝沢台地の東辺部、南北に長い舌状台地上に立地する。中世工藤氏の城館「厨川城」とされている。「厨川城」は匂当館・外館・本丸・帯曲輪などで構成されるが、今次調査では、遺跡南端部、帯曲輪の外堀の一部が検出された。(盛土工法による現状保存措置)



第95次調査区 位置図(1:2,500)

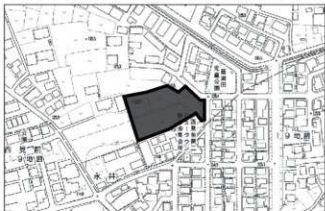


第95次調査 堀跡検出状況

○民間開発関連

(1) <sup>あいらや</sup>荒屋遺跡 第5次調査

- |        |                        |        |                 |
|--------|------------------------|--------|-----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市永井 25 地割 46-1, 47-2 | 2 調査原因 | 宅地造成            |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査           | 4 調査期間 | 令和2年4月23日～8月26日 |
| 5 調査面積 | 2,690㎡                 | 6 調査員  | 今野 公顕・佐々木 あゆみ   |
- 7 検出遺構 奈良・平安時代の竪穴建物跡 12 棟、古代以降の土坑 11 基、溝跡 2 条  
8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器、鉄製品(刀子)、土製品(土玉、勾玉) コンテナ約 20 箱  
9 調査概要 本遺跡は、雫石川南岸と北上川西岸の沖積段丘上に立地する。今次調査では、奈良・平安時代に帰属する竪穴建物跡等の遺構と、当該期の土師器等の遺物が確認された。なお、本調査については別途報告済(『荒屋遺跡-第5次調査 宅地造成に伴う発掘調査報告書-』2021年10月)である。



第5次調査区 位置図(1:5,000)



第5次調査 竪穴建物跡

(2) <sup>いかりちょう</sup>稲荷町遺跡 第37次調査

- |        |                        |        |                |
|--------|------------------------|--------|----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市大館町 126-1,127-1,597 | 2 調査原因 | 宅地造成           |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査           | 4 調査期間 | 令和2年9月7日～11月6日 |
| 5 調査面積 | 1,441㎡                 | 6 調査員  | 菊地 幸裕・鈴木 俊輝    |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑2基, 中世の堀跡1条, 古代以降の土坑10基, ビット10口  
8 出土遺物 縄文土器, 近世の陶磁器 コンテナ約1/2箱  
9 調査概要 本遺跡は, 雫石川と諸葛川の合流点の北岸の段丘上に立地している。従前の調査では, 中世から近世の掘立柱建物跡等が確認されており, 中世居館を主体とする遺跡と推測されている。今次調査では, 中世の堀跡が検出された。従前の調査結果に鑑み, 中世居館の外側を巡る堀跡と想定される。なお, 本調査については別途報告済(『稲荷町遺跡-第37次調査 宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書-』2021年6月)である。



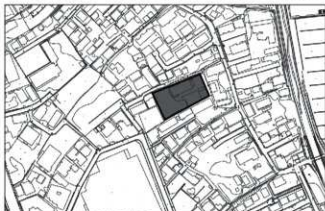
第37次調査区 位置図 (1:5,000)



第37次調査 全景

(3) <sup>どめまき</sup>百目木遺跡 第40次調査

- |        |                  |        |                |
|--------|------------------|--------|----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市三本柳 5 地割 14-1 | 2 調査原因 | 宅地造成           |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査    | 4 調査期間 | 令和2年11月12日・13日 |
| 5 調査面積 | 466㎡             | 6 調査員  | 津嶋 知弘・今野 公顕    |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡4棟, 土坑2基  
8 出土遺物 平安時代の土師器  
9 調査概要 今次調査は, 多数の竪穴建物跡が確認された第1次調査区の北西に位置し, 平安時代の竪穴建物跡等の遺構と当該期の土師器片数十点が確認された。(令和3年度本調査実施)



第40次調査区 位置図 (1:5,000)

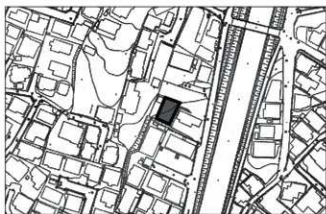


第40次調査 竪穴建物跡検出状況



(4) <sup>さんおうやま</sup>山王山遺跡 第15次調査

- |        |                 |        |                  |
|--------|-----------------|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市山王町 64-33・34 | 2 調査原因 | 共同住宅建築           |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査    | 4 調査期間 | 令和2年11月9日～12月22日 |
| 5 調査面積 | 140㎡            | 6 調査員  | 鈴木 俊輝            |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡2棟、古代の土坑1基、時期不詳の土坑1基、ピット16口、縄文時代から弥生時代の遺物包含層
- 8 出土遺物 縄文土器、石器、弥生土器、平安時代の土師器、須恵器、あかやき土器、石製品（砥石）コンテナ約3箱
- 9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸の小起伏山地から迫り出した丘陵地上に立地している。今次調査では、平安時代の竪穴建物跡等の遺構が検出された。また、調査区南部からは縄文時代早期初頭から中葉、後期、晩期、弥生時代後期の土器を含む遺物包含層が確認された。なお、本調査については別途報告済（『山王山遺跡－共同住宅新築工事に伴う緊急発掘調査報告書－』2021年4月）である。



第15次調査区 位置図 (1:2,500)



第15次調査 竪穴建物跡

(5) <sup>みなみせんぼく</sup>南仙北遺跡 第41次調査

- |        |                    |        |             |
|--------|--------------------|--------|-------------|
| 1 調査地  | 盛岡市南仙北二丁目 234-1の一部 | 2 調査原因 | 長屋住宅建築      |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査      | 4 調査期間 | 令和2年12月1日   |
| 5 調査面積 | 116㎡               | 6 調査員  | 津嶋 知弘・今野 公顕 |
- 7 検出遺構 平安時代以降の溝跡1条
- 8 出土遺物 なし
- 9 調査概要 本遺跡は、雫石川南岸と北上川西岸に形成された微高地に立地している。今次調査では、平安時代以降の帰属が推測される溝跡が確認された。（工法変更による現状保存措置）



第41次調査区 位置図 (1:5,000)



第41次調査 溝跡検出状況

# 報告書抄録

ふりがな	もりおかしいせきのまなびかん わいびにわんど かんぽう							
書名	盛岡市道路の学び館 令和2年度 館報							
編集者名	大森 勉・菊地 幸裕・津嶋 知弘・神原 雄一郎・今野 公顕・花井 正香・鈴木 俊輝・今松 佑太・杉山一樹							
編集機関	盛岡市道路の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2022年3月25日							
所収道路名	所在地	コード		調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因		
		市町村	道路番号				北緯	東経
盛岡城跡 (第37補・41次)	岩手県盛岡市内丸57-1 地内	03201	LE16-0355	39°42'01"	141°09'00"	20200518 ～1030	230	保存整備事業に伴う 事前調査
下永林道跡 (第9次)	岩手県盛岡市津志田14 地割1-1号		LE27-2054	39°39'16"	141°09'43"	20200421 ～1215	2,957	土地区画整理事業
細谷地道跡 (第41次)	岩手県盛岡市向中野字 細谷地24-3号		LE26-0214	39°40'29"	141°08'30"	20200707 ～0721	776	土地区画整理事業
西鹿渡道跡 (第39次)	岩手県盛岡市三本柳2地 割39-64・68・70		LE27-1046	39°39'52"	141°09'47"	20200818 ～0904	84	個人住宅・車庫建築
百日本道跡 (第38次)	岩手県盛岡市三本柳5地 割41-2		LE27-1096	39°39'37"	141°09'46"	20201013 ～1027	59	個人住宅建築
小塚塚道跡 (第44次)	岩手県盛岡市大新町10-8	03201	LE06-1098	39°42'53"	141°07'07"	20200804	27	個人住宅建築
百日本道跡 (第39次)	岩手県盛岡市三本柳5地 割15-2		LE27-1096	39°39'37"	141°09'46"	20201027	159	個人住宅・倉庫建築
里館道跡 (第67次)	岩手県盛岡市天宮寺町 423-6		LE06-2027	39°42'43"	141°07'15"	20201110	19	個人住宅建築
上畑道跡 (第15次)	岩手県盛岡市西見南11 地割163-1		LE37-1162	39°38'08"	141°10'15"	20210312	30	個人住宅建築
安宿館道跡 (第95次)	岩手県盛岡市安宿館町 212-1の一部		LE06-1123	39°43'14"	141°07'32"	20210301	28	個人住宅建築
荒屋道跡 (第5次)	岩手県盛岡市永井25地 割46-147-2		LE36-0319	39°38'53"	141°09'12"	20200423 ～0826	2,690	宅地造成
稲荷町道跡 (第37次)	岩手県盛岡市大新町126- 1, 127-1, 597		LE06-2010	39°42'40"	141°06'35"	20200907 ～1106	1,441	宅地造成
百日本道跡 (第40次)	岩手県盛岡市三本柳5地 割14-1		LE27-1096	39°39'37"	141°09'46"	20201112 ～1113	466	宅地造成
山王山道跡 (第15次)	岩手県盛岡市山王町64- 33・34		LE17-0068	39°41'55"	141°09'58"	20201109 ～1222	140	共同住宅建築
南仙北道跡 (第41次)	岩手県盛岡市南仙北二 丁目234-1の一部		LE26-0313	39°40'26"	141°08'58"	20201201	116	長屋住宅建築
所収道路名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
盛岡城跡 (第37補・41次)	城跡跡	近世	三ノ丸土堀控柱跡、塙土遺構1基 本丸御殿礎石根石、溝跡、土坑		瓦、陶磁器、鉄製品、銅製品 コンテナ20箱		三ノ丸土堀の控柱跡を確認 本丸御殿の建物基礎を確認	
下永林道跡 (第9次)	散布地	縄文 古代	陥し穴状土坑4基 円形周溝18基、土坑墓1基、溝跡1条		土師器・須恵器、鉄製品 コンテナ7箱		主体部を伴う円形周溝を確認 土坑墓から直刀等の銅製品出土	
細谷地道跡 (第41次)	集落跡	近現代	廢棄土坑1基		近現代陶磁器・ガラス瓶 コンテナ20箱			
西鹿渡道跡 (第39次)	集落跡	奈良・平安	壱穴建物跡1棟、土坑1基		土師器、土製品 コンテナ2箱			
百日本道跡 (第38次)	集落跡	平安	壱穴建物跡2棟、土坑2基、溝跡2条		土師器、あかやき土器 コンテナ1箱			
小塚塚道跡 (第44次)	集落跡	縄文	土坑12基		縄文土器、石器			
百日本道跡 (第39次)	集落跡	奈良・平安	壱穴建物跡4棟		土師器・あかやき土器			
里館道跡 (第67次)	城跡跡	中世	堀跡1条		なし			
上畑道跡 (第15次)	集落跡	平安	壱穴建物跡2棟、土坑2基		土師器、須恵器、あかやき土器			
安宿館道跡 (第95次)	散布地 城跡跡	中世	堀跡1条		なし			
荒屋道跡 (第5次)	集落跡	奈良・平安	壱穴建物跡12棟、土坑10基、溝跡2条		土師器、鉄製品、土製品 コンテナ20箱		奈良時代の壱穴建物跡を検出	
稲荷町道跡 (第37次)	集落跡	縄文 中世	陥し穴状土坑2基 堀跡1条		近世陶磁器		中世居館跡の外堀を確認	
百日本道跡 (第40次)	集落跡	平安	壱穴建物跡4棟、土坑2基		土師器			
山王山道跡 (第15次)	集落跡	平安	壱穴建物跡2棟、土坑1基		土師器、須恵器、あかやき土器 縄文土器 コンテナ3箱			
南仙北道跡 (第41次)	散布地 集落跡	古代	溝跡1条		なし			

---

## 盛岡市遺跡の学び館 令和2年度館報

令和4年3月25日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館  
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1  
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605  
e-mail [iseki@city.morioka.iwate.jp](mailto:iseki@city.morioka.iwate.jp)  
URL [http://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/kankou/  
1037106/rekishi/1009437/1009438.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/kankou/1037106/rekishi/1009437/1009438.html)

印刷 小松総合印刷株式会社  
〒020-0827 岩手県盛岡市鉈屋町 15-4  
電話 019-624-1374 FAX 019-623-6719

---



盛岡市 遺跡の学び館